

「出題の意図」

選抜区分	2021（令和3）年度（選抜区分：一般選抜後期日程） 国際環境工学部 建築デザイン学科（科目名：面接）
出題の意図 （評価のポイント）	<p><面接の意図・ねらい> 個別面接・口頭試問を行った。</p> <p>個別面接・口頭試問では、</p> <ul style="list-style-type: none">・自己PRおよびその内容・対面講義とオンライン講義どちらがよいか・コロナ禍を経験して住宅はどのように変わるか・建築に最も大切なこと <p>について質問し回答を求めた。</p> <p>個別面接・口頭試問 質問に対して自らの考えを整理し、回答がなされていた。例えば自己PRに関する出題では、事前に回答した面接シートの内容を背景として、入学や勉学に関するモチベーションを表現するコメントがなされていた。対面講義とオンライン講義に関する出題では、対面講義のほうがよいという回答が多かった。授業における理解度を深めるために教員と直接会話・質問する機会を求めている姿勢が主だった理由であった。コロナ禍を経験した後の住宅に関する出題では、特に換気に関する回答や手に触れる新素材や抗菌作用等について述べられ、日常生活から連想される要素への興味・関心度があらわれる傾向にあった。建築に最も大切なことに関する出題では、利用者や共同者とのコミュニケーションとする回答が最も多かった。</p>